令和6年度学校評価における総合探究課年度末評価について

総合探究課　　川名　恵里

点検・評価項目		自己評価 3　優れている 2　適切 1　改善が必要	点検・評価項目の総括
1	年間指導計画と進度表について	2	進度表入力については、学年ごとに課の先生が入力確認し、未入力のないように徹底できた。 今年度より各教科同様、学期末に回収を行った。 2年の「自己分析」に時間のかかったクラスがあったので、来年度は「自己分析シート」の使い方を工夫していく。
2	「Inspire high」教材 ①ログイン作業について	3	ログイン作業については、業者サポートのもとスムーズに行うことができた。 長期休業後ログインできなくなる生徒がいるので、サポート体制を整えていく。
	②セッションについて	3	セッションについては、今年度より学年ごとに視聴するセッションを決めたため、クラスに差がなく進めることができた。 今後は、教員からのヒントや例えなど、ファシリテーション力の向上を目指していく。
	③プロジェクトについて	3	プロジェクトについて、今年度から始まった個人調べ学習機能であるが、大変優れた教材であり、各クラスの取り組み状況は良好であった。 一方で個人作業の部分が多く、生徒それぞれの進度が異なるため指導に工夫が必要であった。 今後、優秀作品の提示や中間発表会なども視野に入れて計画をしていく。 「InspireHigh」主催の優秀作品100に本校生徒が選出された。
	④発表活動について	2	発表活動について、発表時間の確保が難しいクラスがあったので、開始時期について今後検討していく。 自分の発表を自分のiPadで録画するのは、大変有効であった。
3	3年自己PR文・志望理由書作成について	3	3年生は自己PR文、志望理由書を完成させることができた。
4	他分掌との連携	2	「文化祭クラス企画会議」や「図書館利用説明」・「併設校説明会」「アルバム撮影」などに時間が割かれ、「InspireHigh教材」に取り組む時間の確保が難しいクラスがあった。 今後は生徒会指導部・文化振興課・進学指導部・3学年ハウス長などと連携しながら、「InspireHigh教材」を十分に活用できるように進めていく。